



九十九島

〔学校教育目標〕

心豊かで 活力に満ちた 生徒の育成

〔行動目標〕

気づき 考え 実行する

学校HP : <http://www.city.sasebo.ed.jp/jh-hino/>

文責 前田 英穂 (平成29年 9月11日発行)

前期後半がスタート!!

42日間の酷暑の夏休みも終わり、前期後半の学校生活が再スタートして1週間が経過しました。(本便りも長い夏休みで休んでいたため、切り替えがうまくいかずになかなか再スタートが切れない状況でした。今日から再スタートします、よろしくお願いします。)

「努力の積み重ねで、何でも可能だ!」

上の言葉は、今夏世界選手権をもって引退した「人類最速の男」ウサイン・ボルト選手が、引退セレモニーで若者に残したメッセージです。本年度の日野中学校が目標とした「限界の蓋をはずし、一歩踏み出し努力する。」

『限界突破』にも通じる話と思い、前期後半の再スタートの日に生徒たちにも紹介しました。また、ボルト選手が今夏の大会で発した言葉に感銘を受けたものがありましたので、そのことも集会で紹介しました。「400mリレーが、ラストランとなったボルト選手が、途中座撃のため棄権した時のインタビューで、記者から『寒い召集所で長く待たされたことが一因では?』と聞かれ『10分~15分待たされたことが、ほかに何ができる。我々はルールに従うアスリートだ!』とボルト選手は答えた。」(世界最速の男であり、アスリートとしてラストランの時であっても、特別な存在ではなく、集団の中の一人としてルールに従う、それがアスリートだ、アスリートとしての資質だとの思いを感じました。)今後の学校生活では、1年生は野外宿泊学習、2年生は職場体験、3年生は修学旅行、全校で取り組む合唱コンクールがあります。どれも学級・学年としての取り組みであり、集団の中での一人のあり方を考える機会となります。ボルト選手の言動から学んで欲しいと思い紹介しました。

何よりも恐ろしいのは、「フラッシュバック現象」

9月6日(水)、2年生で薬物乱用防止教室が開催されました。本年度の講師は、薬学博士であり長崎大学名誉教授の高橋 正克先生で、薬物が脳に及ぼす影響について、専門的内容を分かりやすく指導していただきました。中でも印象深かったのが、上の表題の言葉でした。先生によると、「一度危険性のある薬物を使用することは、脳に時限爆弾を仕掛けることと同じ。薬物で傷つけられた脳は、再乱用しなくてもいつか突然、妄想や幻覚・幻聴が現れ、感情のコントロールができなくなることがある。これが『フラッシュバック現象』で、薬物乱用で最も恐ろしいこと。1回だけでも乱用」という話でした。



AIの読解力、中学生の読解力

この夏休み中に、興味深い記事に出会いましたので紹介します。上の表題がその記事の見出しです。(内外教育第6601号より) ※紙面の都合で文字サイズを変更

「この辺りでイタリアンのおいしい店を紹介してください」。iPhone(アイフォン)のSiri(シリ、秘書機能アプリ)に尋ねる。あっという間に答えが返る。9件。現在地から店までの距離、地図、電話番号、住所、料理の写真、利用者によるレビューが一覧できる。さすがSiri、至れり尽くせりである。

次にこう問う。「この辺りでイタリアン『以外』でおいしい店を紹介してください」。やはりあっという間に答えが返る。ところが、その答えは「以外」がない場合と全く同じだ。どうしたSiri。

実はこの話、某研修会で聴いた国立情報学研究所(NII)の新井紀子教授の講演がネタ元である。まさかと思って試してみたら新井先生の言う通りだった。人工知能(AI)は検索に優れているが、まだ「意味」は理解できていないのだと新井先生は言う。

しかしSiriの心配をしている場合ではない。日本の子どもたちの読解力にも相当大きな問題があるのだという。NIIによる人工知能プロジェクト「ロボットは東大に入れるか」の一環として開発された「リーディングスキルテスト」を使った調査によれば、公立中学校生徒の約5割が教科書の内容を読み取れておらず、約2割は基礎的・表層的な読解もできていないことが明らかになった。新聞報道を通じて知ってはいたが、テストに使われた問題を見て、改めて問題の深刻さを実感した。このレベルの文章が読み取れなければ、いくら時間をかけて勉強しても時間の浪費に終わってしまう。

野村総合研究所の発表によれば、日本の労働力人口の約49%が就いている職業は、10年から20年後に、AIやロボットで代替可能になるという。しかし現時点でのSiriの読解力を考えると、もう少し時間がかかるかもしれないと思った。だが安心はできない。読解力がAI並みに不完全な生徒たちは、今すぐにでもAIに取って代わられてしまうということでもある。彼らはどこでどんな仕事をしたらよいのか。

「イタリアン」と「イタリアン以外」とでは指し示している意味が全く異なる。この明白でシンプルな違いがなぜ理解できないのかが理解できない。翻って、両者が異なることをどういう学習によって瞬時に理解できるようになったのだろうか。学習のプロセスが理解できなければ、どう教えたらよいのかという実践的な問いへの答えも得られない。途方に暮れる。

AIに意味を理解することを教える研究を通して、人間への教え方も見えてくるのかもしれない。期待したい。

3年生は、明日から修学旅行に行ってきます。

3年生は、9/12~14に修学旅行に行ってきます。主な旅程・見学地を紹介します。

- 12日: 佐世保(出発)~USJ
(午後から、USJ三昧です)
- 13日: 東寺~京都市内班別主研修
(東寺見学後、班ごとに京都散策)
- 14日: トヨタ自動車・安川電機
大宰府~佐世保(帰校)

